

『フォトネシア』を読む

仲里 効氏を囲んで

2009.12.20 (Sun.)

14:00-17:00

東京外国語大学 (本郷サテライト 5F)

予約不要・入場無料
セッション終了後、会場周辺にて懇親会を予定しております。

映像論的『オキナワ、イメージの縁（エッジ）』で視線の地政史学を磨きあげた仲里効が、今度は写真論を通して、内において見ることの絶対性を問う——幾重にも視線が交錯する場・オキナワから発信し続けるラディカルな思索者・仲里効とともに、写真がひらく地平をさぐる。



仲里 効

1947年沖縄生まれ。主要著書に『オキナワ、イメージの縁』『オキナワレポート』『ラウンドボーダー』。共著に『沖縄の記憶／日本の歴史』『複数の沖縄』など。季刊雑誌『EDGE』編集長、映画『夢幻琉球・つるヘンリー』共同脚本、2003山形国際ドキュメンタリー映画祭沖縄特集（琉球電影列伝）コーディネーター、『コンディショナデルタ沖縄』制作など幅広い分野で活躍。

倉石 信乃

1963年生まれ。詩人、批評家。横浜美術館学芸員時代に「ロバート・フランク——ムーヴィング・アウト」展、「菅木志雄——スタンス」展、「中平卓馬 原点復帰——横浜」展などを担当。主要著作に『反写真論』等。現在、明治大学大学院理工学研究科・新領域創造専攻デジタルコンテンツ系准教授。

真島 一郎／西谷 修／中山 智香子（東京外国語大学）

